



第2回

淀川河川敷十三エリア魅力向上協議会

令和3年9月14日

次第

1. 開会
2. 出席者自己紹介・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 2
3. 本日の議題
 - (1) 十三エリア、新大阪エリアの将来性・・・・・・・・・・・・・資料 3
 - (2) マーケットサウンディング（概要案）・・・・・・・・・・・・・資料 4
4. 意見交換
5. スケジュール及び進め方・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・資料 5
6. 閉会

協議会を構成する団体等及び指名する職員

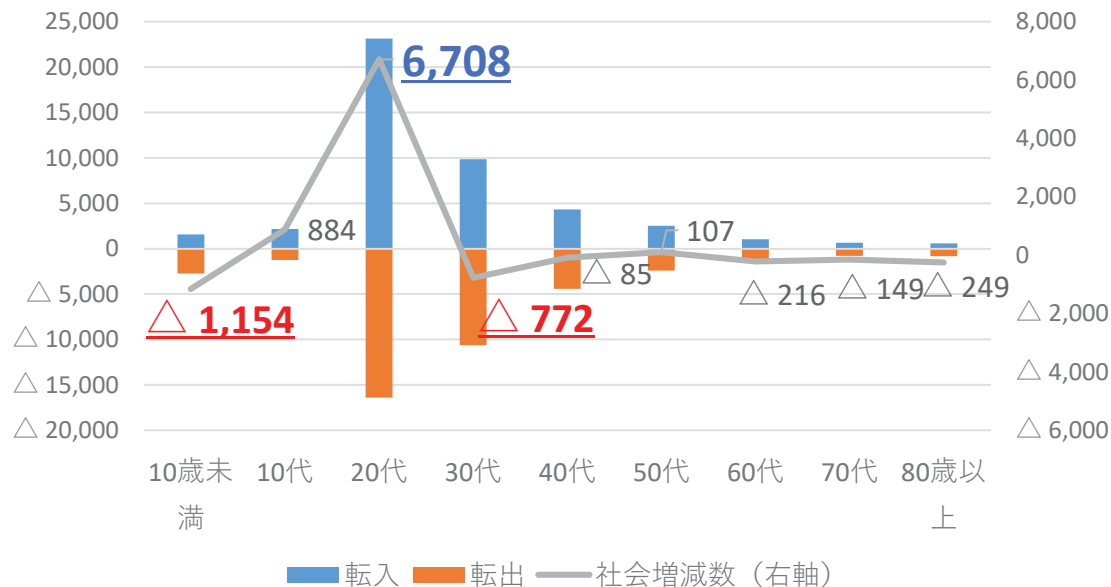
名称	指名する 構成員	指名する職員	
		役職	氏名
大阪市淀川区役所（座長・事務局）	委員	淀川区長	岡本 多加志
国土交通省 近畿地方整備局 淀川河川事務所	委員	事務所長	波多野 真樹
淀川区十三地域活動協議会	委員	会長	久本 年晴
淀川区十三連合振興町会	委員	会長	森田 清輝
淀川区商店会連盟	委員	会長	横田 圭司
大阪商工会議所	委員	地域振興部長	玉川 弘子
一般財団法人公園財団淀川河川公園管理センター	委員	所長	下野 公仁
阪急電鉄株式会社	委員	交通プロジェクト推進部長	奥野 雅弘
大阪市都市計画局	アドバイザー	都市計画課長	藤川 佳宏
国土交通省 近畿地方整備局 河川部 河川環境課	アドバイザー	河川環境課長	藤井 節生
国土交通省 近畿地方整備局 建政部 都市整備課	アドバイザー	都市整備課長	大塚 賢太
大阪府住宅まちづくり部	アドバイザー	まちづくり戦略室 都市空間創造課長	進士 肇
水都大阪コンソーシアム	アドバイザー	事務局長	松井 伊代子

学識経験者

大阪市立大学大学院 工学研究科 都市系専攻 教授	嘉名 光市
--------------------------	-------

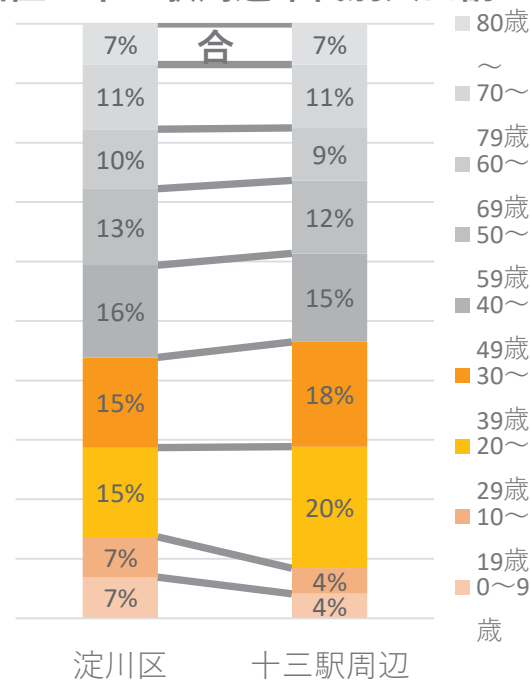
【淀川区及び十三駅周辺の人口動態について】

淀川区年代別社会動態



※大阪市都市計画局所有人口データから淀川区役所が作成

淀川区・十三駅周辺年代別人口割合



※令和2年9月末時点
住民基本台帳より作成

- ・ 淀川区は20代の転入超過が顕著であるが、30代と10歳未満の転出超過が多く、子育て世帯の転出が多い傾向にあると考えられている。
- ・ 十三駅周辺については、淀川区全体と比べて20～30代の比率が高いが、19歳以下の比率が低く、子育て世帯が特に少ない。

⇒ 子育て世帯に住み続けたいと思ってもらえるようなまちづくりが課題となっている

十三エリア、新大阪エリアの将来性 ②

【十三エリア】

- もと淀川区役所跡地の開発により図書館、スーパーマーケット、分譲集合住宅、保育・学童施設、学校施設等の整備が予定されている。
- 図書館やスーパーマーケットの整備により、これまで淀川区に住んでいた方が利用できる新たな拠点が設立される。
- 学校施設や分譲マンションの整備により、子育て世帯や新たな人々が十三エリアを生活の中心にすることが考えられる。

【新大阪エリア】

- 新大阪駅という今後発展が見込まれる広域交通ターミナルを有し、国内、国外問わず多様な文化交流ができる空間になる可能性を備えており、今後多くの方が淀川区を利用することが考えられる。

(都市空間機能)



- 淀川区に住んでいる区民の方が「住み続けたい」、区外の方が淀川区に「訪れてみたい」「住んでみたい」と感じるような魅力的なまちづくりが必要である！